

## 第5回護岸整備懇談会の開催結果概要(案)

開催概要	
日時	平成27年11月25日(木) 17時00分～18時15分
場所	浦安商工会議所 3階会議室A
参加者数	29名
出席委員	6名 (◎遠藤茂勝、工藤盛徳、及川七之助、石井洋祐、歌代素克、米山芳昭) ◎：座長
結果要旨	
◇報告事項	
○1) 護岸整備懇談会要綱の改正	
事務局から資料1により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
○2) 第4回護岸整備懇談会の開催結果概要	
事務局から資料2により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
○3) 2丁目工事着手(平成18年)から8年後のモニタリング調査と検証・評価に係る追加報告	
事務局から資料3により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青潮の発生状況について、ここ5年位は発生している場所が違うようである。以前は茜浜から市川航路にかけて発生していたが、最近は東京港や浦安方面から発生しているようである。</li> <li>・ 三番瀬の環境をトレースしてみると、三番瀬に流入する水は終末処理場で高度処理がなされ、平成19年以降、かなり改善してきている。ただし、三番瀬は東京湾に繋がっているため、東京湾全体がきれいにならなければ、東京湾最奥部は影響を受け、青潮は発生するだろう。</li> <li>・ 温暖化や深掘れが気になっているが、地震後の青潮への影響はどのようなものか。</li> <li>・ 神戸の地震(阪神大震災)のときは、地震前に栄養塩が枯渇していたが、地震後に栄養塩が増え、ノリの色がよくなったと聞いている。ただし、1年経過すると元に戻った。地震後の影響は、あまり長く続かないだろう。</li> <li>・ 青潮や貧酸素の水が発生する場所は、漁業者しか分からないと思う。今後は市川航路とか、猫実の方面からなど発生場所の情報を資料に書いてもらいたい。</li> <li>・ 資料3では青潮の影響について記載しているが、本来この検証・評価では、護岸の影響について見ている。今後は護岸工事の影響についてみてもらいたい。</li> </ul>	
⇒資料3に記載している青潮の発生状況は、千葉県のパルメット水塊速報のHPから情報を入手したものである。今後は発生状況について漁業協同組合の方にヒアリングを行って、情報を整理することとしたい。	

◇議題

○1) 2丁目200m区間の施工初年度のモニタリング調査と検証・評価

事務局から資料4により説明後、質疑応答。

[主な意見及び対応]

・暗渠部の**処理方法**はどこまで調整しているのか。

⇒行徳湿地の暗渠管は、市川市所有地の下を通っている。暗渠管は自然保護課が所有している。事務局より今年度までに方針を示して欲しいとお願いしている。今年度までに方針が示されれば、平成28年度に設計を行い、平成29年度に完成の見込みである。

◇その他

**護岸整備懇談会の開催回数について**

今年度は、モニタリング調査は年1回の実施で報告は1回のみで、他に検討事項が無いため、今年度の懇談会の開催は1回としたい。来年度、検討事項ができれば開催案内をさせて頂きたい旨、事務局から説明を行った。

[主な意見及び対応]

・特になし

以 上